

町の考えを問う

9議員が一般質問に立つ

全質問事項

田中紀吉

1. 集落支援員制度の取り組み（導入）を
2. 中学校の統合の検討を

野口守隆

1. 太陽光発電施設の設置について
2. IT及び通信関連の経費について

山中博子

1. ときがわ町原木きの特産化への取り組みの成果と現状は
2. 「ときがわ水辺の道」のさらなる活性化を

野原和夫

1. 社会保障の拡充を
2. 埼玉中部資源循環組合の計画について

岩田鑑郎

1. 児童公園の見直しを
2. 観光振興について

小宮正

1. 防災無線について
2. 敬老会について

長島金作

1. 高齢者の運転免許証返納対策

神山俊

1. 人口減少に応じて自治体事業の取捨選択を
ー選択と集中ー
2. 新たな地域まちづくりを

小島利枝

1. 避難所の生活環境の整備を
2. 指定避難所と集会施設の役割について
3. 防災行動のタイムラインの整備は
4. 5歳児健診の実施を

一般質問とは

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行部に対し疑問点をただしたり、政策の変更、是正、あるいは新規施策の提案などを行うことです。

ときがわ町議会では、質問は一問一答方式であり、一議員あたり質問、答弁を含めて60分以内の制限があります。

また、質問議員に対して執行部側から質問ができる反問権が認められています。





集落支援員制度の取り組みを

田中紀吉

町長 業務内容、地域の範囲を検討する



問 集落支援員制度は、総務省が所管する制度で、市

町村から委嘱を受け、職員と協力しながら集落の状況把握等を行い、課題について住民相互、行政と住民の話し合いを促進して必要な施策を策定するもので、取

り組む（導入）べきではないか。

答 町では、住民と地域の課題を共有し、取り組むことによって解決することが可能であると考えている。活用目的を明確にし、業務内容や地域の範囲等を検討

する。

中学校の統合の検討を

問 部活動の数は。

答 玉川中は運動部4つ、文化部1つ、都幾川中は運動部4つ、文化部1つ。
問 専任の先生の配置は。

答 学級数が基となり、美術、音楽、技術家庭は非常勤講師を配置している。

問 不登校生徒数は。

答 現在2名、多様な要因が考えられる。

問 合同の体育祭、文化祭、合唱祭、修学旅行の計画は。

答 具体的計画はない。

問 統合の検討委員会の設置、アンケートの計画は。

答 計画していないが、保護者、地域の声を聞きながら、中学校の在り方を研究していく。

太陽光発電施設の設置に関するガイドライン（指針）の策定を 野口守隆

町長 策定に向けて、検討していく



問 農地法、森林法等の適用外区域に野立の太陽光発電施設を設置する場合、町

に届け出なくても設置できるため、町では事前に設置を把握できない発電施設がある。設置に関するガイドラインの策定を。

答 太陽光発電施設の設置に関するガイドラインを整備することで、法令等による許可、届出の義務がない

案件についても、一定の指導ができることから策定に向けて検討していく。

また、ガイドラインの中

で「設置するに相当でないエリア」を掲げ、周辺の生活環境等に与える影響を十分に考慮し、計画の中止を含めた抜本的な見直しを行

わせる内容についても検討していく。

問 太陽光パネルの製品寿

命は25年から30年と言われており、有害物質も含まれている。2040年頃に大量に廃棄物として排出されると見込まれている。

その際に、太陽光パネルが、不法投棄、あるいはそのまま放置されるのではと危惧されているが。

答 国のガイドラインを遵守するよう指導する。



野立ての太陽光発電施設（イメージ）